

初任給4万円増の30万円

三井住友リース 研修制度も充実

三井住友ファイナンス &リースは2025年4月に入社する大卒総合職の初任給を4万円引き上げ、30万円にする。初任給の引き上げは2年連続で、上げ幅は過去最大に

なる。賃上げをここ優秀な若手を集め、航空機リースや不動産、再生可能エネルギーなど多角化する事業に必要な専門性の高い人材の育成につな

固定残業代などを含まない金額でみると、30万円の初任給は金融業界で最高水準だ。三井住友リースは2023〜24年度に計3回、基本給を一

律で底上げするペースアップ（ベア）を実施し、中堅社員を中心に待遇を見直してきた。初任給の引き上げで若手の処遇も大幅に改善する。

三井住友リースは社内の研修制度にも力を入れる。人材育成にかかる費用を25年度に22年度比で3倍の約6億円に増やす計画を掲げ、2022年10月から社員の専門性を高める研修プログラムを

始めた。ITパスポートなどのデジタル関連の資格取得を促すなどして社員の学び直しを積極的に後押しする。

就活生の企業選びの傾向について、三井住友リースの人事担当者は「自制度も充実させて金融業界に關心のある優秀な学生が整っているかを重視し、生の困り込みを狙う。」と話す。初任給の水準だけでなく、研修の充実も重要なポイントだ。